

看護職

看護職は、看護師・保健師・助産師を指します。保健、医療、福祉の幅広い分野で人々の心身の健康を守る仕事です。病院等の医療機関だけではなく、訪問看護ステーションや介護、福祉関連施設で活躍できる職種です。

看護職の仕事内容

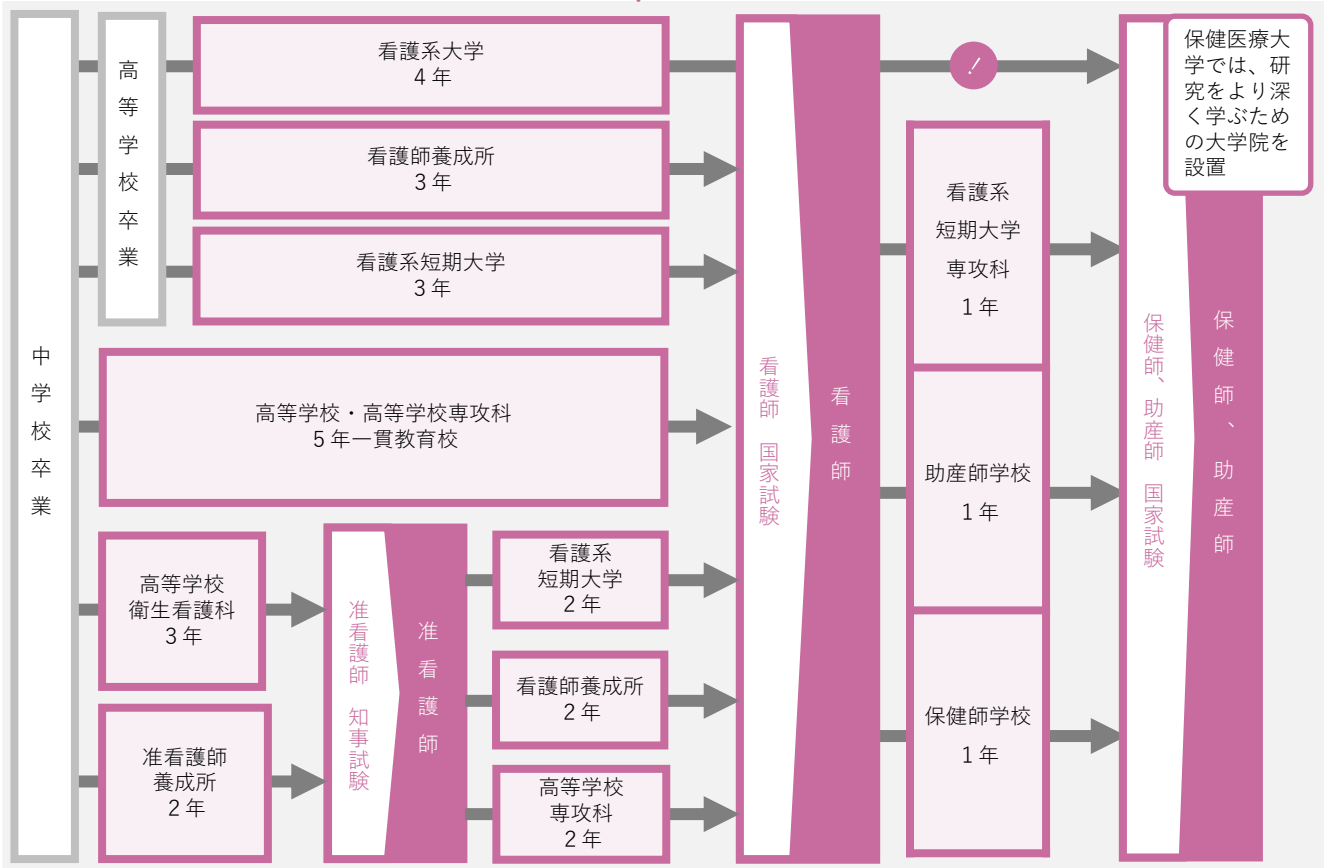
看護師は、病院や診療所で患者のケアを担当します。医師の指示に基づき、薬の管理や検査の補助、手術のサポートなどを行い、患者と家族の安心と健康を支え、大切な役割を果たしています。保健師は、地域で健康相談や健康教育を行い、予防や健康増進に取り組みます。学校や保健センター、企業などでも活動します。助産師は、病院などで妊婦や出産する女性に寄り添い、安全で快適な出産をサポートする専門職です。

看護職に向いている人

看護職に向いている人は、人間愛や思いやりを持ち、他人の健康や安全を大切にすることが出来る人です。責任感や忍耐力に加え、コミュニケーション能力やチームワークも大切であり、臨機応変に対応できる柔軟性も求められます。医療の知識や技術を学ぶ意欲や向上心も重要です。経験を積みながら成長し、患者の健康と幸福を支えることにやりがいを感じる人に向いています。

看護職になるには？

山形県立保健医療大学では、「看護師と保健師」または「看護師と助産師」の国家試験受験資格が同時に得られます。



看護職の資格を得るには、大学や専門学校等の養成学校で医学や看護について講義や実習を通して学ぶ必要があります。養成学校を卒業後に国家試験に合格し、看護職としての資格が得られます。

看護職の活躍の場

看護師／病院等の医療機関 介護施設 訪問看護ステーション 保育所 学校 など
保健師／保健所・市区町村保健センター 地域包括支援センター 企業 教育機関 福祉施設 など
助産師／総合病院 大学病院 産院・助産所 産婦人科・小児科病院 市区町村保健センター など

Q どんな中学生でしたか？

A 安定した人生を目指して、とりあえず勉強も部活もそこそこ頑張っていた現実思考の中学生でした。

A 陸上部に所属し、部活中心の生活でした。勉強との両立を目指していたが、部活の方が優先でした。医療系に興味がありました。

Q 中学生の頃になりたい職業はなんでしたか？

A 理学療法士になってオリンピックのサポーターになることでした

A 薬剤師

Q いつ頃に医療職を目指すようになりましたか？そのきっかけはなんですか？

A 小さい頃から医療職には興味がありました。収入が安定していること、そして人を支える仕事であるという部分に魅力を感じていたのだと思います。看護師、助産師を目指すようになったのはコロナ禍で生活した経験からです。イレギュラーが起こった時にすぐ動くことができる、特に弱者になりうる妊産婦さんや母子のケアができるようになりたいと思い助産師を志しました。

A 中学の頃。
きっかけははっきりわからないが、医療ドラマが好きでよく観ていました。高校で薬剤師や臨床検査技師になりたいと思うようになっていたが、高校2年の後半、進路を考え方向を決め始めた頃、看護師になりたいと思うようになっていました。

Q 保健医療大学のいいところはどんなところですか？

A 同級生や先輩方が優しいことです。他の大学と比べて少ない学生数なので、学科を問わず沢山のひとと仲良くなることができる点が本学の魅力の一つだと思います。話す機会が多いからこそ、他の職種への理解も深まり、チーム医療の大切さを学生のみではありますが常々感じています。

A

- ・少人数で交友関係を築きやすい。（大きな大学だと親しい友人はなかなかできないと友人から聞いた）
- ・少人数で先生に覚えてもらいやすいため、相談しやすい。

Q 中学生のみなさんへひとこと

A 医療は命と向き合い、責任ある職業ですが、生きていく上では欠かすことのできないことです。誰かのために、という思いを持って学ぶことは素晴らしいことだと思いますが、自分や大切な人のためにという思いで学ぶことも素敵なことだと思います。明確なきっかけや強い思いがなかったとしても「保健医療」を選択し、学んでみると自分の想像を超えてこの分野の魅力に引き込まれてしまうと思います。進路に迷った時、選択肢に加えてみてください。